

- 調査対象 性別・年齢階級別（5歳ごと）で同数均等割当。「15～19歳」から「70歳以上」までの12区分×性別2区分
- 調査方法 インターネット調査 ・有効回答数 10,128人
- 調査時期 2020年5月25日～6月5日

東京都23区に住む20歳代の地方移住関心度は35.4%

本稿のバックナンバーを振り返ってみると、新型コロナウイルス感染症に関係した記事が多い。それだけコロナ禍が社会に与える影響が大きいということであり、調査結果からはこれまでの価値観や常識では測れない変化を感じる。地方への移住に関する意識もその1つだ。

地方移住への関心度

20歳代	22.1%
30歳代	20.0%

新型コロナウイルス感染症拡大の影響下において、〈三大都市圏居住者〉に地方移住への関心について聞いたところ、全体では15.0%（「関心が高くなった」3.8%、「関心がやや高くなった」11.2%）、年代別にみると20歳代がもっとも高く22.1%、次いで30歳代が20.0%、40歳代15.2%、10歳代13.5%、50歳代以上が10.2%の順となっている。

20～30歳代の若年層の比率が相対的に高く、ほぼ5人に1人が地方への移住に関心を示している。

現実味を帯びてきた地方への移住

地方移住への関心度がもっとも高かった20歳代のうち、地域別の関心度をみると、〈東京都23

区〉は35.4%（「関心が高くなった」11.8%、「関心がやや高くなった」23.6%）、〈東京圏〉が27.7%、〈大阪・名古屋圏〉は15.2%となっている。

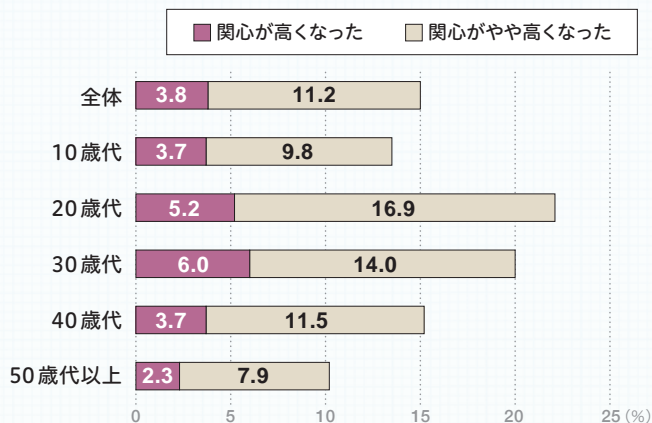
人口の集積度が高い地域ほど関心度は高いが、これは感染リスクへの不安なども少なからず影響し

ていると考えられる。

テレワークや時差出勤等、働き方の選択肢や自由度が広がりつつあるなかで、地方に生活の拠点をおくことは、以前にも増して現実味を帯びてきている。

（インテリジェンスバリューコーポレーション株式会社 岩村克俊）

〈三大都市圏居住者〉の地方移住への関心（年代別）



注）三大都市圏＝東京圏、名古屋圏、大阪圏の1都2府8県
東京圏：東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県 名古屋圏：愛知県、三重県、岐阜県
大阪圏：大阪府、京都府、兵庫県、奈良県

20歳代の地方移住への関心（地域別）

